



四日市市議会議員

未来に責任を持つ市政を！

ひぐち ひろみ

〒510-0002 四日市市羽津中3-3-4

☎332-4795 fax332-3700

携帯電話 090-8181-6618

樋口 博己



HPアクセス

★ひぐちひろみ後援会 発行日：2020年秋号

8月定例会議会一般質問 持続可能で災害に強いまち「四日市」を目指して ～激甚化・頻発化・日常化～

近年、大地震や大雨による自然災害は、**激甚化・頻発化・日常化**しており、防災・減災対策の「**適応策**」と気候変動対策の「**緩和策**」の取組について、質問しました。



議会質問動画

中学校給食センター

災害時に温かい食料の提供を



①2023年4月運用開始の給食センターが、災害時にも速やかに運用できるように、**食材・ガスの優先的供給の協定締結が必要だ**

答弁⇒災害時には、**食材・ガス等の調達が困難になることが想定されるため、今後検討を行っていく**

②災害時に、学校再開までの期間における**指定避難所等への温かい食事の配送・提供をすべきだ**

答弁⇒現在、**建設・運営事業者を選定中で事業者が決定次第、供用開始に向けて災害時対応も含めて全力で取り組んでいく**

EV活用でエコ&レジリエンス

※EV：電気自動車
レジリエンス：復元力

災害時電源確保へEV導入へ

①災害時に防災拠点での非常用電源を確保するため、**電気自動車メーカーと協力協定を結び停電に備えるべきだ**

答弁⇒自動車メーカーとの協定には、**市がEVを所有することが必要なため、来年度など早期にEVを導入し、協定締結に向け進めていく**

②地区市民センターにEVを導入して、日常的には**地域の活動車両(エコ)**、災害時には**非常用電源(レジリエンス)**となるよう推進すべきだ

答弁⇒災害時の電源確保するため、**EVを地区市民センターに順次導入していく**

③鳥取県のように、災害時にEVなどを所有する県民に避難所などへの電源供給に協力(自身の安全を確保した上で)してもらう制度「**災害時協力登録車制度**」を四日市市でも創設すべきだ

答弁⇒市内でもEVの普及が進んでおり、**制度の創設について前向きに検討を進めていく**



2050年ゼロカーボンシティ

脱炭素対策で地球温暖化の抑制を

※ゼロカーボン：CO2排出量実質ゼロ

①自然災害の激甚化・頻発化は、気候変動が大きく影響している、脱炭素へ地球温暖化に関する枠組み「**パリ協定**」の達成に向け、**ゼロカーボンシティへどのように取り組むのか**

答弁⇒市単独でのゼロカーボンは難しいが、**県と協力し広域的観点で推進する。また、新エネルギーに取り組む企業への支援、ゼロエネルギー住宅推進補助制度も強化していく**

希望と安心の新時代を担う決意で前進を！

公明党全国大会を開催



公明党は27日、東京都千代田区の都市センターホテルで第13回全国大会を開催した。党代表に再任された山口那津男代表は「政治に求められているのは、新型コロナウイルス感染症の脅威から国民の命と健康、生活を守ることだ。感染拡大防止と社会・経済活動を両立させ、国民の安全・安心を取り戻し、再び発展、繁栄への道筋を切り開かねばならない」と述べ、コロナ禍の克服に総力を挙げると強調。

また、次期衆院選や再来年の参院選の“政治決戦”の勝利を訴え、「希望と安心の新時代を担う決意で前進を！」と呼び掛けた。

大会では、来賓として菅義偉首相(自民党総裁)が出席し、あいさつ(別掲)。石井啓一幹事長、竹内譲政務調査会長ら本部役員が指名・承認され、重要政策「つながり 支えあう 社会へ」などを発表した。

菅首相あいさつ(要旨)

公明党の皆さんから不妊治療の助成金拡大や保険適用に強い要請を受けている。できるだけ早く保険適用ができるようにしたい。それまでの間は、助成金を思い切って拡大したい。

公明党の皆さんは「大衆とともに」という大きな政治理念の下、全国的なアンケート調査を行っている。しっかり(国民の声を)吸い上げて、私ども政府に何回となく要請をいただいた。私は、友党・公明党の皆さんの政治に心から拍手を送る者の一人だ。

私自身、国民のために働く内閣をつくっていきたい。そのために、友党・公明党の協力を心からお願い申し上げます。

(公明新聞9月28日付抜粋)

〈連立政権合意の主な内容〉

- 新型コロナワクチン・治療薬を確保し医療機関を支援
- 産業と雇用を守り、経済を成長軌道に回復させる
- デジタル化を推進し、日本経済社会の脆弱性を克服
- 全世代型社会保障の構築を急ぎ、少子化対策を強化
- 地方創生を推進。全国津々浦々まで元気に
- 防災・減災、国土強靭化を推進。災害復旧・復興も
- 持続可能で強靭な脱炭素社会を構築
- 平和外交と防衛力強化で国民の生命・財産を守る
- 憲法改正に向けた国民的議論深め合意形成に努める



新体制を担う決意を新たにした山口代表(左)石井幹事長(右)

7月2日、党本部で中央幹事会が開かれ、候補選考委員会の決定に基づいて、次期(第49回)衆院議員総選挙の第2次公認予定候補として、比例区東海ブロック(定数21)において、中川康洋(元)さんが公認されました。

中川 康洋 前衆議院議員



1968年2月生まれ。三重県立四日市南高校、創価大学卒。坂口力・元厚生労働大臣の秘書を経て、四日市市議(1期)、三重県議(2期)、衆議院議員(1期)を歴任。現在、党遊説局長次・地方議会局長次・中部方面幹事長・三重県本部代表。防災士。

公明党TOKAIサポーターズ公式アカウント

LINE登録してください

右の画像を読み取るか、LINEアプリの「友だち追加」→「ID検索」で、[@988vibuc]と入力し、「追加」してください。公明党のニュースをお届けします。



動画

公明TOKAI
STORY

中川康洋(前衆議院議員)をはじめ公明党が最前線で汗を流し、日夜奮闘する模様を動画で紹介。右の画像を読み取ると、動画が視聴できます。



◎弁護士による、法律相談を受け付けています

11月5日・12日・19日・12月3日・10日・17日の木曜日 午後1時～ 予約制
ご相談を希望される方は、樋口までご連絡を頂きますようお願いいたします。

四日市市議会議員 樋口博己 090-8181-6618